

萬天下の労働者諸君に告ぐ

吾人大阪機械労働組合員は未來永久利害一致する無產階級の解放を目的とする兄弟同志が殊に組合同志が相争ふ事を好まない者である。乍然好んで平地に波乱を起し仲間内を平氣で罵倒し侮辱して憚らず強て戦を挑む者あらば、吾人は不本意ながら労働運動將來の爲に膺懲すべく應戦する事を辭せざるものである。

過日新聞紙上に汽車會社に工場委員制度が實施せらるゝ事になつた同社には勢力相伯仲せる鐵工組合と機械労働組合とがあるから委員選舉には定めて激烈な競争を演ずるであらうと書立た。

焉んぞ知らん同社は鐵工組合の發生地であるが今は同組合墮落の結果僅々六七十名に減少敗するは明かである専る此際亦耻を晒すより彼等一流の世間を偽り人を偽り人を偽るに如きとして八月二十九日公認候補は出ない云ふ聲明を發表した。ソレダケなら多少血の通つて居る奴もあるワイと詰めてやる處だが氣でも狂つたのか聲明文の中には事實無根の事を駁面もなく羅列し、機械労働組合を説謗中傷して居つたのだ。此の聲明文を見た我が組合員は其の非常識を嘲笑ひ且つ怒り三日朝幹部を派して鐵工組合最高幹部会に左の詰問を發し既答を迫つた

一、如何なる理由と事實を以て機械労働組合を火事泥的に發生した組合と云ふのか。
一、機械労働組合が工場委員制度實施に努力した功績は衆の知る處なり、然るに今機械労働組合が反対したとは何を以て爾云ふか其の事實を立證すべし。

一、俺達は労働ブローカーの走狗になる事を欲しない謂ふ所の労働ブローカーとは何か。
ど然るに彼等は只一つとして答辯が出来ない終に策窮まで至急幹部會を開き詰明致しますとの事に猶豫すべきにあらざるも一應許してやつた所、ヤ、暫くして今日は幹部の多數が欠勤して居るから九月一日朝迄待つて呉れと云つて來た、既に聲明を公表しながら其聲明の辭を知らざるが如き彼等の恩に至つては二句がづけない。

九月一日待てとも待てとも回答に接せず、再三再四督促の結果午後二時半に至り、鐵工組合代表者二名より回答する旨返事に於けるにより、二名の代表は鐵工組合の全責任を以て回答及交渉をなすや否や萬一組合長に或は幹部へ又組合員に一々相談せねば確答の出來ない様な代表なれば交渉しないと傳へたるに、彼等は全責任を帶びて接見する旨明答したるにより我が機械労働組合は三名の代表を出し正式に會見した。

彼等は低頭平身一つとして締明の辭はありません全く我々が非常識でありましたから何等かの形式に依つて陳謝致しますとの事に深く追求せし結果左の如き陳謝文八百枚を作製し九月二日朝必ず機械労働組合の代表者に手渡しする事を固く誓約したのである。

今回發表シタル聲明中ニハ事實無根ノ箇所及文字不穩當ノ遺憾アルニ依リ彼ノ全文ヲ取消シ友誼團体タル大阪機械労働組合ノ名譽ノ爲メ茲ニ陳謝ノ意ヲ表明スルモノナリ。

大正十年九月二日 大阪鐵工組合安治川支部

然るに何事も同日午後五時鐵工組合の代表者機械労働組合本部に來り留守を幸に

今日會社ニ於テ貴殿方ト取り定メ候陳謝ニ關スル事項當組合員及支部員諸君ノ反對ニ依リ甚

ダ申譯ナキ事ナレ其全部取消シ以前通りノ聲明ト致可ク候故左様御承知被下度候

追テ平井眞如不履履ノ處へ私共辭職致シ御詫仕可ク候」との一通を置き去れり。

ア、鐵工組合員及最高幹部並に代表者の無責任なる事柄も三才の小兒の如く無節操なる事遊

時間を出でずして弊履の如く被棄し尚恬々し恥じないのである。

之が正義人道に基く労働運動を口にする者のなす事か、

「私は引責辭任しますから是迄の事全部取消し更めて第二の全權委員に交渉して下さい」と一
何たる破廉恥漢ゾ無智無能の不道德漢ズは彼等の爲に出来たる代名詞なるを感ず。假初にも
團体の代表者が正式に締結したる誓約を履行せずして組合員中反対者あるの理由の下に辭任す
る奴も奴なら、第二の全權になる奴も奴、其して又茫然見てゐる組合員も組合員だ、彼等には
常識なきが理非曲直を判断すべき腦味噌なきが團体の體面、組合の面目を知らざるか彼等には
きは資本家の代表と労働者の代表と云ふが正式に取り定めたる約束でも資本家が守る事が出来ない
と云へば其は正當た止を得ん事だと諒めらる連中ダロー、我々の道徳的契約を履行しない奴に
は飽其道徳的制裁を加へてやるのである。

吾人は第二の全權委員を認める事は出来ない、何と云はば彼等と交渉しても又下らぬ理由で
取消で第三、第四、亦同じだ。コンナ様な不道徳漢と無意義の會合をする程吾人は粗末な時間
を持ち合さない。

引責辭職とは締結したる誓約を履行して後組合員に對して申請に不するものだ第二の全權委員
ものだ。此位の事が分らないで團体運動が遂行出来るか

試みに思へ、日露戰爭終結の當時小村全權が締結したる條約に對して我國民の大多數が反対
した。あの時小村全權が自殺しても條約は無効にはならないのだ。第二の全權は送れないのだ。

小村全權が承諾する事は國民が承諾した事なのだ、組合の代表者同志が締結した事は組合員
同志が約束せなかつた事は労働團結の意義を解せずして飽く御加山の大將で居りたい奴輩である

人間共に労働運動が出来たるか。之を互に守るのが團体の德操だ德操のない奴は人間でない。非
人間共に労働運動が出来たるか。

吾人は第二の全權委員を認める事は出来ない、何と云はば彼等と交渉しても又下らぬ理由で
取消で第三、第四、亦同じだ。コンナ様な不道徳漢と無意義の會合をする程吾人は粗末な時間
を持ち合さない。

泥舟の話はツマイ者だつたらう、虚偽と矛盾ももろいと云ふが如き辛抱加山の如き卒先加山の大將で居りたい奴輩である

事実を表明したのだ、其の時彼等は名ばかりの集りでは駄目だと反対したが、日本職工總同盟は
群衆が併なつて居るのか、群雄否群小割據の封建的組合では仕様がないと覺醒し同組合から多
ひない、そんな事は同關西勞働組合聯合會の爲に組合の常務理事であつた金子氏が勞働組合の
大合同の爲に關西勞働組合聯合會の爲に組合の常務理事であつた金子氏が勞働組合の
獨り加入せなかつた事は労働團結の意義を解せずして飽く御加山の大將で居りたい奴輩である

最初の労働組合には大舉參加し其の實力の大を示した事は世人の知る處である。彼
等の云ふ處によれば機械労働組合が最もべき發展をしたる形容詞だ「火事泥的」が急
速發展の形容詞だなどとは社會一般に通用しない、かゝる無能詭辯を弄する彼等に労働運動の
正道の歩めないのも無理ではない、未だ我々の仲間ににはこんな馬鹿があるから情けなくなる

か。

我が大阪機械労働組合の創立せられたる動機は實に彼大阪鐵工組合の墮落と大同團結の必要
を痛感するに至つた。労働者の自覺並に友愛の産業別組合組織の活動とに基因するものである
る、從つて大阪機械労働組合の發生を説明するには是非大阪鐵工組合の墮落を物語らねばなら
ぬ事と我々一番苦痛なんだ。金錢上にも執務上にも兎角の批難があるが、そこまで書くには忍
びない、そんな事を我々が退會するに至つた。時恰も友愛會員中の機械工のみで一組合を組織しようとの議があり相方
意氣投合し二月十六日其會社に創立委員會を開くに至つたのを前後着々と發展し五月一日關西
更に大阪機械労働組合は何時工場委員制度にて